

令和3年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：（国語）科目：（現代文B）対象：（第3学年1組～6組）

科目担当者：（1組：い長谷川◎、ろ和田◎、は山川◎、に山口◎）（2組：い長谷川◎、ろ和田◎、は山川◎、に山口◎）（3組：い長谷川◎、ろ和田◎、は山川◎、に山口◎）
 （4組：い長谷川◎、ろ和田◎、は山川◎、に山口◎）（5組：い長谷川◎、ろ和田◎、は山川◎、に山口◎）（6組：い長谷川◎、ろ和田◎、は山川◎、に山口◎）

教科・科目の 指導目標	・相手が感じていること、思っていること、考えていることを的確に判断できるようになる。 ・自分が感じたこと、思ったこと、考えたことを適切に表現できるようになる。 ・互いに伝え合うコミュニケーション力を付ける。 ・知識を得、心を豊かにし、考える力を伸ばす。 ・言葉の重みを理解し、言葉を大切に使う。 ・漢字検定3・4級の漢字が日常生活の中で使えるようになる。
----------------	--

	高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	1 就職・進学に必要な、基本的な日本語の表記や読解力、敬語に課題がある。 2 就職・進学に必要な、人と協力して課題を解決する能力に課題がある。	1 週1回、漢字テストを実施する。補習や課題の提示を通じて、漢字の書き取りを中心に行い、常用漢字を書けるようにする。 2 授業内でコミュニケーション活動を増やし、その場に応じた言葉遣いで自分の考えを伝える能力を育成する。	1 学年間の意思疎通の場を増やし、生徒の現状と対応について協議を重ねていく。 2 年間の授業計画を作成したうえで、授業担当で随時授業内容や進度の打ち合わせを行い、統一的な指導を行う。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			